

# 大谷地区

## 景観づくり指針

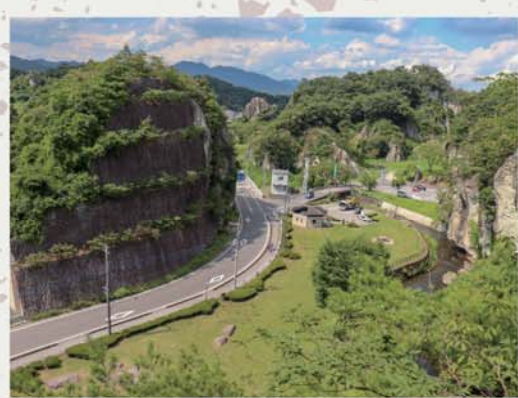
～石の里大谷 景観形成ガイドライン～

概要版

2019年（平成31）年3月  
大谷地区景観づくり推進協議会

### 目次

はじめに ～石の里大谷の景観づくり指針の策定にあたって～	1
景観づくりの目標像と方針	1
エリアごとの景観づくりの方針と配慮事項	2
景観づくりに向けた先導的取組とスケジュール	5



# 1 はじめに ～石の里大谷の景観づくり指針の策定にあたって～

## ■景観づくり指針策定の背景

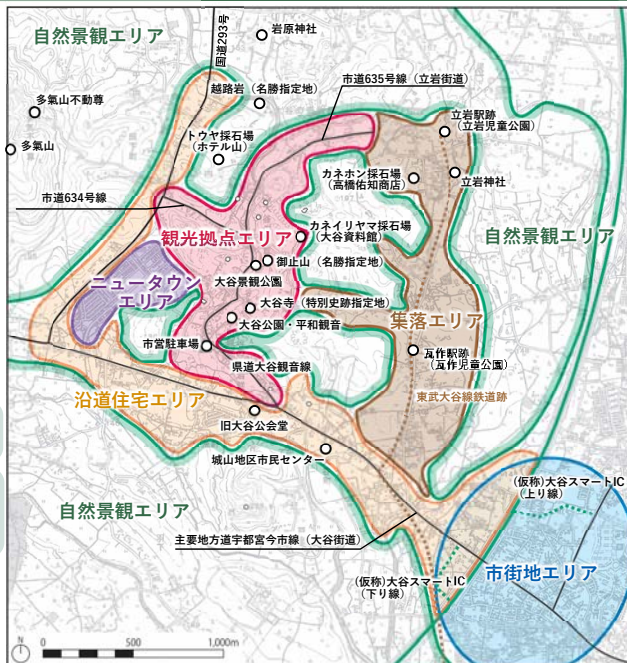
大谷では、石の里としてこれまで築き上げられてきた独自の大谷石文化により、①大谷石の岩肌など自然の状態から、②大谷石の切り出し・加工など産業に利用されている状態、③加工された大谷石が実際に建物の建材などに利用される状態と、大谷石を巡る流れにより独自の景観が形成されてきました。

大谷では今、観光入込客数120万人の達成を目指した取組が進められています。それらの要素のひとつである大谷の景観を、

今ある大谷の風景・個性・特色を保全し、次の世代に引き継ぐ

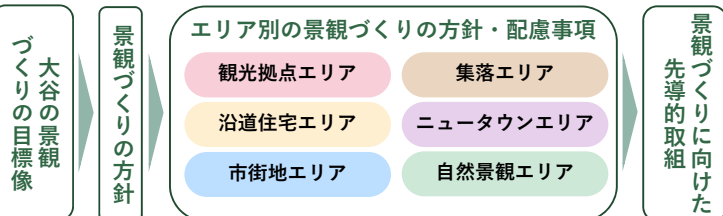
生活環境と調和した観光拠点としての魅力を創出し、大谷に住む人々や来訪者が大谷に愛着を持てる

これらを実現するために、地域住民や事業者、行政が景観づくりのイメージを共有するための指針を作成しました。



## ■景観づくり指針の構成

本指針は、大谷全体の景観づくりの目標像と方針を定めた上で、景観づくりの配慮事項としてエリア別の景観特性に応じた具体的な方策例を示すとともに、景観づくりに向け先導的に特に力を入れて取り組む内容を示しています。



## ■景観づくりの取り組みに向けて

### 地域住民・事業者・行政が協働して取り組みます

#### 地域住民

- 身近な大谷石資源の保全
- 地域の緑化や清掃活動
- 自宅の生垣や木の管理等

#### 行政

- 景観に配慮した公共施設の整備
- 規制誘導手法の導入等

#### 事業者

- にぎわいづくりへの貢献
- 店舗、屋外広告物、自販機等の景観への配慮等

### 大谷石に関する取り組みとも連携していきます

#### 日本遺産への認定



#### 建材としての評価の高まり



### 自然や生活・産業の風景の中にある大谷石を大切にします

#### 眺めの中での大谷石の分析例



# 2 景観づくりの目標像と方針

## ■景観づくりの基本的な考え方

大谷の景観…  
大谷石を巡る流れにより形成された景観

個性や特徴、魅力を感じられる  
大谷ならではの景観を守り、育む

豊かな自然と大谷石文化による景観に  
新しい価値を生み出す



## ■景観づくりの目標像

豊かな自然と大谷石文化が織りなす大谷ならではの景観を守り、育む  
～行ってみたい、過ごしてみたい、いつまでも暮らし続けたいまちなみの形成～

## ■景観づくりの方針

景観を保全し観光資源として活用するために…

- **大谷石のまちなみを大切にします**  
- 大谷石建造物の喪失や管理の低下を防止し、大谷石のまちなみを維持
- **岩肌による「感動する眺め」を守ります**  
- 岩肌の樹木・雑草や水辺（姿川等）の適切な管理や、周辺施設の色彩などの配慮

大谷の観光機能を充実し、にぎわいを創出するために…

- **景観を通じて、大谷石文化を発信・継承します**  
- 特徴的な景観を自然景観と共に保全・活用する事で、大谷石文化を発信・継承
- **大谷石のまちなみに合うにぎわいを誘導します**  
- 商業施設の新たな出店に伴う大谷石のまちなみに配慮した建物や屋外広告物の誘導
- **良い眺めや夜間景観を整えます**  
- 良好な眺望や夜間景観を整え、観光の質を向上し滞在時間を延ばす

観光と生活が共存するために…

- **まちなみに配慮した屋外広告物を誘導します**  
- 屋外広告物の乱立を防止し、まちなみに調和する屋外広告物を誘導
- **住環境と観光地の共存を目指します**  
- 観光地としてのにぎわいの誘導と共に、今ある住宅地の落ち着いたある景観も維持
- **周辺の自然にも配慮します**  
- 大規模工作物が立地する際など、植栽や色彩などの面で周辺の自然にも配慮

エリアの景観特性に応じた景観づくりを推進  
(エリア別の景観づくりの方針・配慮事項)

## 観光拠点エリア

観光拠点エリアは、奇岩群や歴史ある大谷石建造物が集積するなど石の里・大谷を代表する風景があります。

一方で、近年立地する店舗等では、周辺の大谷石を引き立たせた新たな風景が生まれつつあります。

この流れを活かして、大谷石を景観資源として保全・活用するとともに、新しい感性を吸収しながら観光地としての魅力を高めていくことが必要です。

住み心地がよく、観光客も来てよかった、また来たいと思ってもらえるよう、まちぐるみで大谷石のあるモダンでにぎわいのあるまちなみを目指します。

## 景観づくりイメージ①



## 景観づくりイメージ②



## 方針① 大谷石のまちなみの維持と観光資源としての活用

## ■大谷石の特別な空間を演出する

- 道路、沿道建物、自然の岩肌が一体となり、大谷石につつまれる回廊の形成



平和観音参道



大谷公園

## ■大谷石建造物、文化財周辺の風景を整える

- 主要な視点場からの眺めを阻害する要因の除去
- ! 道路・河川・公園や公共サイン、民間の建築物や屋外広告物など、それぞれの所有者・管理者が可能な範囲で景観配慮に努める



姿川



大谷寺周辺

## ■歩いて楽しめる空間を充実させて、観光客をもてなす

- 歩行空間の改善や修景、周辺の大谷石資源の案内等の充実  
(主要な観光資源をつなぐルートの形成)
- 沿道に新規に立地する店舗や観光関連施設での、建築物や外構、屋外広告物等への大谷石の積極的な採用



街灯や公共案内板などの色を自然やまちなみに配慮 (日光市)



## 方針② 大谷石の岩肌の眺望の保全 (「感動する眺め」を整える)

- 奇岩群周辺での、休める場所や写真スポット等の整備、眺めを阻害する人工物の改善
- 岩肌の適切な維持管理



大谷景観公園

奇岩群の眺めを阻害する人工物を改善 (道路の転落防止柵)



現在



イメージ

## 方針③ 大谷石のまちなみに相応しい建物、商業施設、屋外広告物の誘導によるにぎわい創出

## ■建築物等

- 現存する大谷石の石蔵や塀などの保全
- 大谷石を採り入れたリノベーションの推奨
- 周囲のまちなみに配慮した建物の高さ (10m以下) の推奨
- 建物の外壁や外構、ベンチ等のファニチャー、屋外広告物への積極的な大谷石の活用
- まちなみに調和する落ち着いた色彩の採用
- 自然の大谷石を引きたてる色彩
- 建物の外構の沿道からの見え方の配慮 (大谷石や植栽の積極的な採用)
- かき・さく・塀への自然素材 (大谷石、木材等) の使用や生垣の推奨

- ! 屋根への太陽光パネル設置の配慮

大谷石を取り入れたリノベーション



大谷石のベンチ



大谷石を取り入れたファニチャー類



大谷石を材料にした看板

まちなみに調和する落ち着いた色彩の採用イメージ



## ■工作物

- 電波塔など高い工作物の景観への配慮
- 太陽光発電施設等の景観への配慮

## ■屋外広告物

- 大谷石の建物と一緒に雰囲気をつくる
- 色や大きさ、主張しすぎないデザイン

## ■その他

- 自動販売機等のまちなみへの配慮

## 方針④ 眺望や魅力的な夜間景観の創出

- 奇岩群や大谷石建造物のライトアップ
- 間接照明や温かみのある光による、夜間景観の演出
- 道路に面したエントランスや外構の照明
- 投光器等による天空への照射を控える



岩肌のライトアップ

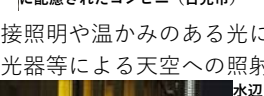


外構のライトアップ

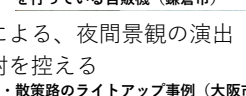


水辺・散策路のライトアップ事例 (大阪市)

屋外広告物の色や建物の外構が周辺に配慮されたコンビニ (日光市)



まちなみに合う色を採用し、目隠しを行っている自販機 (鎌倉市)



## 沿道住宅エリア

観光拠点への導入部に相応しく、生活に溶け込んだ大谷石建造物の個性を引き出し、大谷観光の期待感を高めるまちなみを整えます。



## 景観づくりイメージ



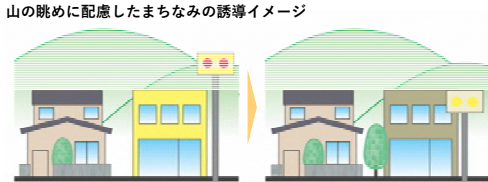
## 方針① 街道に存在する大谷石建造物の保全・活用

- 大谷石建造物の保全
- 住宅や新規の店舗での大谷石の使用の推奨
  - 外壁、外構、屋外広告物等



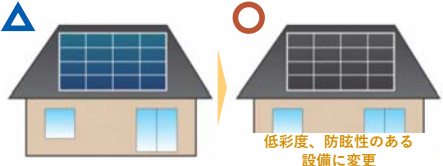
## 方針② 街道から多気山や古賀志山への眺めに配慮したまちなみの誘導

- 遠方の山並みの眺望の配慮
  - 建物の高さ、自然に調和する落ち着いた色彩の採用等
- 背景の山並みのみどりとの調和、連続性への配慮
  - 敷地内の樹木の保全等
- 室外機やゴミ置き場のまちなみへの配慮
  - 道路から見えない位置への設置、建物の色彩との調和、目隠し等の設置



屋根に設置する太陽光パネルの配慮イメージ

室外機の木格子による囲いと植栽（石川県金沢市）



## 方針③ まちなみへの屋外広告物の配慮

## ① まちなみに調和する屋外広告物の採用

## まちなみに調和する屋外広告物のポイント

- 建物の屋根の高さを超える広告物は控える
- 1つの建物や敷地に設置する広告物を極力少なくする
- 店舗名等の表示は、建物に馴染みやすい切り文字とする
- 広告板の地色に鮮やかな色を使わないようにする
- 出来るだけ少ない色（3色程度）による広告板とする
- 広告板の表示面は自然素材（大谷石や木材等）を用いる
- イラストや写真を用いた広告板は控える
- 可変表示式広告（デジタルサイネージ等）の設置を控える
- 広告物に設置する照明の点滅は控える 等



## 市街地エリア

市街地エリアでは、スマートICの開通により、県外からの観光が見込まれます。

観光客にとってはじめて見る宇都宮、大谷のまちの風景であり、観光地の入口にふさわしい景観を形成します。



## 方針 観光地の入り口として、機能的で観光地への期待感を高める屋外広告物の整備・誘導

- 建物のまちなみへの配慮
  - まちなみから突出する派手な色やデザインは控える
- 大谷のPRにつながる広告物の推奨
  - 屋外広告物の一部に大谷石を用いる等
- 屋外広告物の量や統一感の配慮
  - 過度に屋外広告物を掲出ししない
  - 形態を整える 等



## ② まちなみに調和する屋外広告物の採用

## まちなみに調和する屋外広告物のポイント

- 建物に店舗名等を表示する場合は、地色に鮮やかな色を使わないようにする
- 出来るだけ少ない色（3色程度）による広告板とする
- 広告板の表示面は自然素材（大谷石や木材等）を用いる
- イラストや写真を用いた広告板は控える 等



自然素材を用いた広告物  
国道119号線（日光街道）の桜並木街道



赤や黄色の彩度（鮮やかさ）を低くおさえた例（神奈川県小田原市）

## 屋外広告物の景観配慮検討イメージ

## 通常の屋外広告物



## 看板の彩度を低くし、まちなみに調和させる



## 色を反転（白を基調色）空に溶け込ませる



## ③ 運転者の注意をひきすぎる広告物を控える

## 運転者の注意をひきすぎる広告物の例

## 安全・安心な屋外広告物のポイント

- 広告面の地色に原色を用いることを控える（特に信号機付近では運転者からの見え方に注意する）
- 可変表示式広告（デジタルサイネージ等）の設置を控える
- 広告物に設置する照明の点滅は控える 等



広告物の地色に原色を多用



可変表示式広告  
（例：デジタルサイネージ）

集落エリア

大谷石文化を伝承する資源と、暮らしの中で育まれる生活環境との融合により、自然や文化、生活と調和した景観形成を図ります。



方針① 大谷石文化の発信と継承

- ・ 文化的資源の保全
  - －日本遺産の構成文化財（採石場・加工場、立岩神社、立岩駅跡）
  - －周遊観光の資源として活用 等
- ・ 集落景観のポイントとなっている大谷石建造物（石蔵などの）の維持

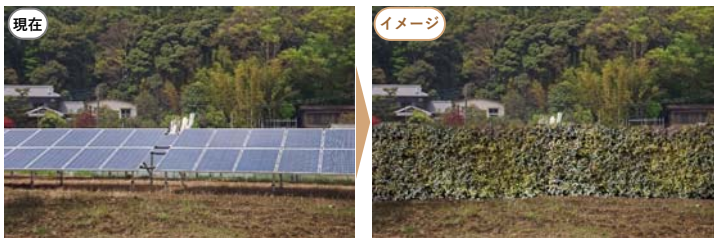


大規模工作物立地の際の景観への配慮イメージ（生垣による目隠し）

方針② 周辺の自然環境や住環境の維持

① 道路からの眺めへの配慮

- －太陽光発電施設など大規模工作物を設置する際に、施設の周りへの囲い（大谷石・木など、自然素材を使用した柵や生垣等）の設置



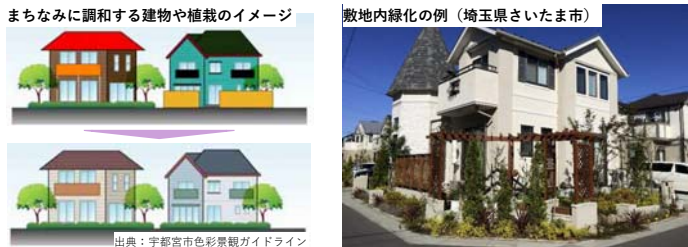
- ・ 資材や土砂の堆積場所の適切な管理

ニュータウンエリア

住宅地としての落ち着きがあり、ゆとりのあるまちなみ景観を維持し、隣接する観光地との共存を目指します。※現行の地区計画(城西ニュータウン地区計画)に沿った景観づくりを推進

方針 住み心地のよい住居環境の維持管理

- ・ 建物の外壁への配慮
  - －まちなみに応じたデザイン
  - －落ちついた色合いの採用 等
- ・ 建物の屋根への配慮
  - －まちなみに調和する形状や材質
  - －落ちついた色合いの採用等
- ・ 道路に面する塀の高さの配慮（2m以下）、生垣の推奨



出典：宇都宮市色彩景観ガイドライン

自然景観エリア

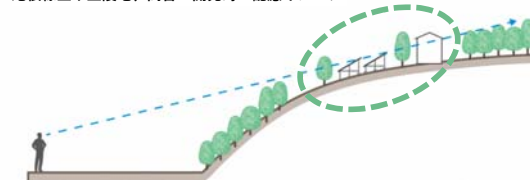
大谷の発展の歴史は、豊かな自然と文化・生活との共生に基づくものです。自然（山、田畑）が織りなす風景の維持保全に努め、将来に残していきます。



方針① 山並み、森林の保全

- ・ 山肌や稜線を壊す開発行為や工作物の設置を控える
  - －やむを得ず行う場合には、植栽等で囲うなど、景観に配慮
- ・ 高台からの眺めの維持
  - －平和観音展望台や御止山、多気山 等
  - －山肌や稜線を壊す開発行為や工作物の設置を控える

尾根線上や丘陵地、高台の開発時の配慮イメージ



まずは、設置を控える！！ やむを得ない場合は、工作物への植栽による目隠しや建物や設備の最上部を低くする

方針② 田畑の保全

① 田畑の適切な維持・管理

- －むやみな開発は控える、田畑の適切な除草
- －農業の営みが垣間見える農村景観の保全 等

大谷の高台からの眺め（例）平和観音展望台



御止山



方針③ 太陽光発電施設への配慮

① 道路からの眺めへの配慮

- －施設の周りへの囲い（大谷石・木など、自然素材を使用した柵や生垣等）の設置

① 高所からの眺めへの配慮

- －配置や樹木等による目隠し

① 眺めに配慮した設備の推奨

- －パネル面は黒色又は濃紺色若しくは低明度かつ低彩度、付帯設備も同様に色彩に配慮する。
- －できるだけ最上部は低いものにする

① 尾根線上や丘陵地、高台への設置を控える

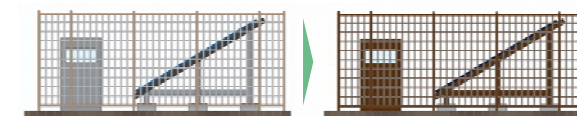
- －やむを得ず行う場合には、植栽等で目隠しするなど、景観に配慮する

① 定期的な保守点検等による維持管理

- －時間的経過に伴う景観の悪化を防ぐ

眺めに配慮した設備の整備イメージ

- ・ 設備の色を同じ低明度、低彩度で同じ系統にする



・ 設備の最上部の高さを低くする

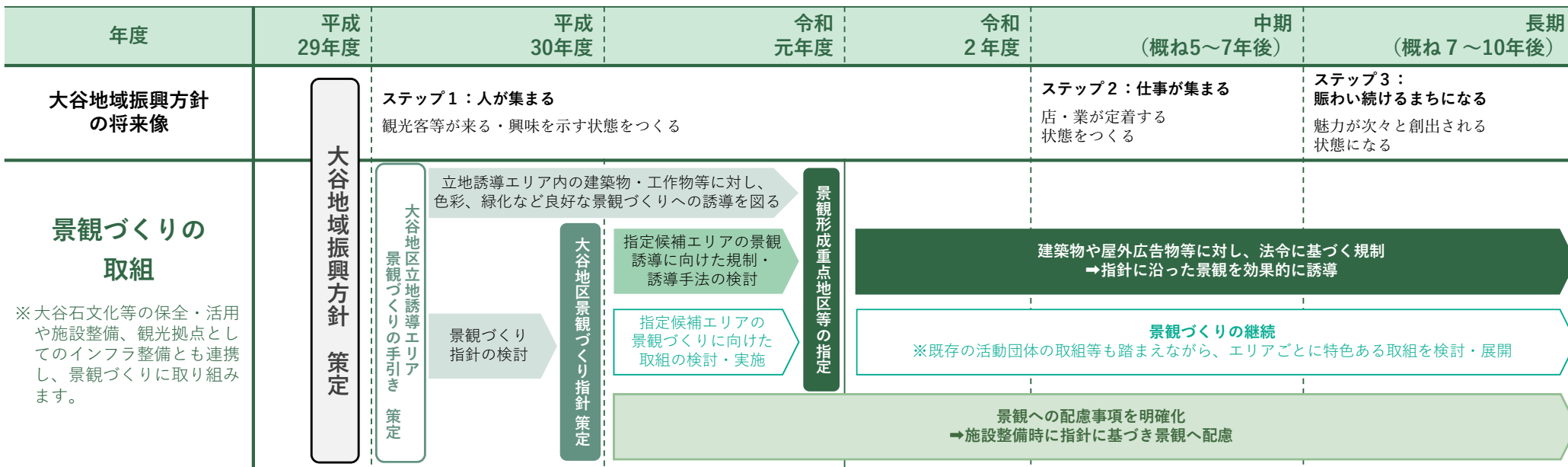


## 4 景観づくりに向けた先導的取組とスケジュール

■先導的取組として想定される内容 景観づくりを地域住民・事業者・行政が協働で進めていく上での先導的取組として想定される内容を整理します。

取組名	内容	主体	取組名	内容	主体
景観づくり指針の活用	景観づくりの意識啓発や公共施設整備の際に、景観づくり指針を活用していきます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>住民からの建築等の問い合わせの時に紹介</li> <li>公共施設整備時の景観配慮事項として参考にする 等</li> </ul>	市 (景観みどり課)	空き地・空き家の活用	空き地・空き家の対策として、これらの管理に向けた取り組みや、活用（商業施設へのリノベーション等）を推進します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>空き家の除去やリノベーション</li> <li>空き地の管理（清掃・除草活動等）等</li> </ul>	地域住民 事業者
景観づくりにむけた規制・誘導手法の検討	指針でまとめた景観の将来像をより効果的に誘導するために、法的な規制誘導手法の導入を検討します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>景観形成重点地区</li> <li>広告物景観形成地区 等</li> </ul>	市 (景観みどり課)	民間施設への大谷石の誘導や維持	建築行為等での大谷石の積極的な利用を促進すると共に、今ある大谷石の建造物（塀や蔵等）の維持管理策を検討します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>商業施設等での大谷石の積極的な利用促進</li> <li>塀や堀の洗浄・補修方法の検討 等</li> </ul>	事業者 地域住民
住民・事業者主体の活動支援策の紹介・検討	住民主体の景観づくり活動を支援する制度の紹介や、効果的な支援策について検討していきます。	市 (景観みどり課)	景観の観光活用に向けたイベント等の検討	景観を活用した新しい観光資源の創出やイベントを検討していきます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>回遊ルートやまち歩きイベント</li> <li>大谷石の岩肌や建造物のライトアップ 等</li> </ul>	地域住民 事業者 市 (大谷振興室、景観みどり課等)
地域の美化活動	地域の清掃や空き地、大谷石の岩肌等の除草活動などにより、大谷の美観を向上します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>清掃活動</li> <li>除草活動 等</li> </ul> ☆既に活動団体有	地域住民	先導的取組は、大谷で既に活動されている団体の取組なども踏まえながら、エリアごとに特色ある取組を検討し、展開していきます		

## ■景観づくりのスケジュール



観光入込客数120万人の達成